

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年7月16日 (2015.7.16)

【公開番号】特開2015-28751(P2015-28751A)

【公開日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-009

【出願番号】特願2013-268501(P2013-268501)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/31 (2013.01)

G 0 6 F 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/20 1 3 1 A

G 0 6 F 1/00 3 7 0 E

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/00 Z

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月29日 (2015.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の目的を達成するための、ジョブを管理する情報処理システムであって、前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段と、読取対象物の読み取りによる第 1 の認証に従って、ログインするログイン手段と、前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、前記入力受付手段で前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより、前記ログイン手段でのログインで用いた前記読取対象物の利用を制限する利用制限手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジョブを管理する情報処理システムであって、
前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段と、
読取対象物の読み取りによる第 1 の認証に従って、ログインするログイン手段と、
前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、

前記入力受付手段で前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより、前記ログイン手段でのログインで用いた前記読取対象物の利用を制限する利用制限手段と
を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項 2】

前記入力受付手段で前記記憶手段に記憶されるジョブパスワードの入力を受け付けると、前記ジョブに対する出力の制御を許可する許可手段
を更に備え、
前記ログイン手段は、前記読取対象物の読み取りによる認証とは異なる第 2 の認証に従って、ログインすることができ、
前記許可手段は、前記第 2 の認証でログインがされた場合に、前記入力受付手段で前記ジョブパスワードの入力を受け付けなくとも出力の制御を許可すること
を特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

前記利用制限手段で利用が制限された読取対象物を再度利用可能にさせるための、解除パスワードを生成する解除パスワード生成手段と、
解除パスワードを受け付ける解除パスワード受付手段と、
前記解除パスワード受付手段で前記解除パスワード生成手段で生成した解除パスワードを受け付けたことにより、前記読取対象物の利用の制限を解除する解除手段と
を更に備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記解除パスワード生成手段は、前記入力受付手段で受け付けたジョブパスワードと、前記ジョブパスワード記憶手段で記憶されたジョブパスワードが一致しない場合に、前記解除パスワードを生成すること
を特徴とする請求項 3 に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

前記解除パスワード受付手段で受け付けた解除パスワードと、前記解除パスワード生成手段で生成された解除パスワードが一致しない場合には、前記利用制限手段は、前記解除パスワードによる制限の解除をできないように制限すること
を特徴とする請求項 3 または 4 に記載の情報処理システム。

【請求項 6】

前記利用制限手段は、ジョブパスワードが一致しない場合には、読取対象物を読み取り、前記解除パスワードの入力で解除させることを示すフラグを設定し、解除パスワードが一致しない場合には、読取対象物を読み取り、解除パスワードの入力で解除させないことを示すフラグを設定すること
を特徴とする請求項 5 に記載の情報処理システム。

【請求項 7】

前記ジョブパスワード又は前記解除パスワードを、前記読取対象物に対応づくユーザの送信先に送信する送信手段
を更に備えることを特徴とする請求項 3 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理システム。

【請求項 8】

ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段と、
読取対象物の読み取りによる認証に従って、ログインするログイン手段と、
前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、
前記入力受付手段で前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより前記ログイン手段でのログインで用いた前記読取対象物の利用が制限されたことを通知する通知手段と

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 9】

ジョブを管理する情報処理システムであって、当該ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段を備える情報処理システムの処理方法であって、

前記情報処理システムのログイン手段が、読取対象物の読み取りによる第 1 の認証に従って、ログインするログインステップと、

前記情報処理システムの入力受付手段が、前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付ステップと、

前記情報処理システムの利用制限手段が、前記入力受付ステップで前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより、前記ログインステップでのログインで用いた前記読取対象物の利用を制限する利用制限ステップと

を備えることを特徴とする情報処理システムの処理方法。

【請求項 10】

ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段を備える画像形成装置の処理方法であって、

前記画像形成装置のログイン手段が、読取対象物の読み取りによる認証に従って、ログインするログインステップと、

前記画像形成装置の入力受付手段が、前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付ステップと、

前記画像形成装置の通知手段が、前記入力受付ステップで前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより前記ログインステップでのログインで用いた前記読取対象物の利用が制限されたことを通知する通知ステップ

を備えることを特徴とする画像形成装置の処理方法。

【請求項 11】

ジョブを管理する情報処理システムであって前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段を備える情報処理システムで実行可能なプログラムであって、

前記情報処理システムを、

読取対象物の読み取りによる第 1 の認証に従って、ログインするログイン手段と、

前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、

前記入力受付手段で前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより、前記ログイン手段でのログインで用いた前記読取対象物の利用を制限する利用制限手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 12】

ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードを記憶するジョブパスワード記憶手段を備える画像形成装置で実行可能なプログラムであって、

前記画像形成装置を、

読取対象物の読み取りによる認証に従って、ログインするログイン手段と、

前記ジョブの出力を制御するためのジョブパスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、

前記入力受付手段で前記ジョブパスワード記憶手段に記憶されるジョブパスワードとは異なるジョブパスワードを受け付けたことにより前記ログイン手段でのログインで用いた前記読取対象物の利用が制限されたことを通知する通知手段

として機能させることを特徴とするプログラム。